

中国武漢市との友好都市交流について

大分県大分市文化国際課

本号では、前号に引き続き第8回（2013年度）自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の受賞団体のうち、大分市の取り組みを紹介します。

友好都市武漢市の紹介

まず簡単に、武漢市について説明いたしますと、人口は約1,022万人、総面積は8,500km²、湖北省の省都であり、中部地域最大の都市です。

中国大陸のほぼ中央で、北京、上海、重慶、広州などの主要な都市まで、1,000kmに位置することから、古くから交通の要衝として発展してきました。近年は、高速鉄道が整備され、武漢天河空港も拡張するなど、他都市へのアクセスがさらに便利になり、華中地域の中心都市として目覚ましい経済発展を遂げています。

近年、市民の所得も向上したことから、消費地としても世界から注目されており、日本からは今年（2014年）の12月にイオンモールが進出する予定です。

友好都市の締結

新日本製鐵株式会社大分製鐵所（現新日鐵住金大分製鐵所）が中心となって、設備近代化を図る武漢鉄鋼会社にプラントの建設と操業指導を進めてきたことがきっかけとなり、人的交流が広がり、



友好都市締結調印式

1979年9月7日に日中間としては全国で11番目となる友好都市を締結しました。

大分市武漢事務所

締結以来、35年にわたり、文化、スポーツ、医療衛生、福祉、環境、農業、商業、観光など幅広い分野に及び、行政交流のみならず民間による交流も進んできました。



武漢事務所のスタッフ

そのような中、両市の交流を新たな段階に引き上げる原動力となったものが、2006年に中核市レベルとしてはいち早く中国に設置した大分市武漢事務所です。大分市武漢事務所は、武漢市人民政府外事弁公室の外郭団体である、武漢市国際交流サービスセンターに委託する方式をとっており、サービスセンター内に新しく部署を作る形で実施しています。3人の日本語の堪能な現地スタッフが常駐しており、武漢市政府へのパイプを活かしながら、行政間交流のサポートのほか、本市の団体が武漢市の団体との交流を希望した際に、マッチング、事前準備のサポート、交流の際の通訳など一貫してサポートしています。

友好都市間交流 ビジネスチャンス創出事業

長年の友好交流で培われた市民レベルの相互理解と信頼関係を基盤に、グローバル時代における地場企業の新たな活性化策として武漢市政府、ジェトロ大分など関係機関と連携し、2003年から友好都市間交流ビジネスチャンス創出事業を実施しています。これは、武漢市で行われている展覧会への参加、商談会などによるマッチング、武漢事務所を活用したビジネス環境調査・支援などを行い、地場企業をサポートしています。

このような環境整備をする中で、地場の牛乳メーカーが武漢市の地場企業と合作会社を設立し、高い加工技術や日本ブランドを活かし、牛乳や乳製品の加工、販売を行っているほか、市内のケーキ屋が武漢側のパートナーと共同出資し、シュークリーム専門店を出店するなどの成功例も出てきています。

JAPAN おおいたマーケティング ギャラリー「Gate Way」

経済交流を進めていく中で、市内の企業から単発的な博览会やフェアの実施では継続的なビジネスにつなげて行くのは難しいとの声が上がってきました。そこで、2013年の4月に常設のアンテナショップとして、JAPAN おおいたマーケティングギャラリー「Gate Way」を武漢市に設置しました。「Gate Way」では、大分の産品を展示しているほか、カフェスペースや商品倉庫も完備しており、さまざまな形態の販促キャンペーンを行うことが可能です。また、運営面では、大分県内の企業を会員とする「おおいた産品等海外ビジネス



JAPAN おおいたマーケティングギャラリー「Gate Way」

促進協議会」の会員が経費の一部を負担し、会員企業に委託する方法を採用しており、民間のアイデアを活かした効果的な活

動を行うことができる仕組みとなっています。

現在、大分の産品を輸出する際に中国国内の通関で滞り、多くの日数がかかるなど、まだ試行錯誤している最中ではありますが、両市の新たな交流拠点としての役割が期待されています。



「Gate Way」の内部の様子

むすび

今年（2014年）は、両市が友好都市を締結してから35周年となる節目の年です。そこで、両市民の友情をさらに深めるため、8月に「武漢ジュニアサッカー交流訪問団」を受け入れ、地元チームとのフレンドリーマッチやホームステイを実施したのを皮切りに、10月には本市にて開催されます「おおいた夢色音楽祭」に出演する武漢ミュージシャンの受け入れ、12月には中国でも屈指の実力を誇る武漢雑技団の受け入れ、「特別公演『楚風漢韻～楚を巡る時の旅～』」の実施、大分交響楽団を武漢市に派遣し、武漢交響楽団との合同演奏会の実施などさまざまな記念事業を行います。

今後の10年、20年におきましても、両市の特色を活かしながら、新たな交流へとつなげて行き、引き続き、両市民が幸せになるための枠組みを構築し、活力づくりを図っていきたくと考えています。



武漢雑技団のパフォーマンス